

トピックス

全国シルバー将棋 群馬県大会で 白井さん 優勝す!

3月25日付上毛新聞に、菱の実会員の白井敬郎さん(太田市)が上記大会で優勝した記事が大きく掲載されました。(下記記事参照)

白井さんは馬電在職中にも囲碁・将棋ではナンバーワン(しかもズバ抜けて)の実力の持主であったことは皆さんもご存じの通りであります。

会員の方がたが、定年後も元気にご活躍の様子を知ることはいはうれしいことです。そこでこの機会に白井さんに近況や今後の抱負などをお伺いしました。

白井敬郎さんの話 若かった頃と比べると、力を維持するのはだんだんとむずかしくなってきました。でも将棋は囲碁とちがって、練習を怠るとすぐに力が落ちてきますし、また一手でもおろそかにできない集中力と緊張感のあるところが、私は好きです。

白井さん(太田支部) 2度目の王座

太田で有段者ら45人が熱戦

現在の力をすこしでも維持するために心がけていることは

①プロ対局の竜王戦の第1局は、いつも海外で行われるので、この観戦ツアーに参加する。

②地方では、どうしても実戦不足になるので、月に2・3回は東京方面へ出かけ、実戦の勘を失わないようにする。

③かって購入したままだった専門誌を(いまは時間もあるので)あらためて読んでみる。ということなどです。

カラオケ
平成8年
お知

カラオケ
月例会は
曜日に健
荘 YOU遊
午5時
います。
平成8
開催予定
りです。

4月
5月
6月
7月
8月
9月

ぜひご

全国シルバー将棋大会

六十歳以上の将棋愛好者による第三回全国シルバー将棋名人戦大会(日本将棋連盟支部連合会主催、上毛新聞社後援)が二十四日、太田市社会教育総合センターで開かれ、四十五人の有段者らによる熱戦を太田支部の白井敬郎さん(太田)が制し、全国大会出場権を手にした。白井さんは第一回大会に続き二度目の王座。



白井さん

加。生涯競技としての将棋の人気の高さをうかがわせる。

大会はシルバー棋士の増加に対応するため開かれていた。県大会の参加者は、昨年の三十一人から大幅に増えた。

大会はシルバー棋士の増加に対応するため開かれていた。県大会の参加者は、昨年の三十一人から大幅に増えた。

- 【支部名人戦】▽優勝 山口 口男(甘楽)▽準優勝 都橋 政司(シード)▽三位 高橋 好夫(沼田)清水俊雄(榛名) 【支部対抗戦】▽優勝 松 井田▽準優勝 太田▽三位 加藤典男(同) 星野邦雄(太 桐生、館林北



む金子さんを、白井さんが冷静にかわし切り、百十七手で勝負を決めた。棋歴四十年以上の白井さんが将棋を続けてきた理由は「部分だけでなく、全体を見る力を付けるため」。現在は太極拳を習うなど体力トレーニングを繰り返している。熱戦を繰り返す参加者